

幸運仏 お堂にハート形の絵馬

恋人の聖地 熱い神石高原

神石高原町がNPO法人認定の「恋人の聖地」に選ばれて3年半。カップルや良縁を願う女性たちが訪れ、にぎわいを見せる。お薦めスポットを歩いた。(細田一歩)

年間約1万人が訪れる幸運仏。35年前、道路工事で見つかった2基の五輪塔を供養すると、地域で縁談がまとまったという。お堂には、ハート形の絵馬が並ぶ。案内してくれた町観光協会の津川香代子さん(36)と町まちづくり推進課の赤木志帆さん(28)が、それぞれにそっと両手を合わせた。

紙飛行機「ラブコプター」を買い、とよまつ紙ヒコーキ・タワー(3月中旬まで休館)へ向かう。高さ約20mの展望台から飛ばし、恋

2基の五輪塔を供養する「幸運仏」のお堂。縁結びスポットとされ、天井には結婚成就のちょうちんがぶら下がる



恋人の聖地 静岡市のNPO法人が、プロポーズにふさわしい全国の約140カ所を選定した。県内では神石高原町のほかに尾道市の千光寺公園など4カ所。14日から、スマートフォンを活用した聖地巡りのスタンプラリーが始まる。

学校食堂 分け合うランチ



学校食堂がカップル限定で提供する「恋するランチ」。ナポリタンと県産の牛肉を使ったステーキ丼をシェアしてもらう

愛成就を期した。次は、懐かしい旧校舎の学校食堂へ。「恋するランチ」は、大盛りを分けて食べる方式で提供する。同食(42)は「他県の聖地と組み、堂は「女性や男性同士のべ 広域でPRしたい」と話す。

紙ヒコーキ・タワー 思いを飛ばす



シンボル施設の「とよまつ紙ヒコーキ・タワー」。幸運仏で買える紙飛行機「ラブコプター」を飛ばし、敷地外に出れば御利益があるとうたう

